

第14号

## 市自公連だより



## 筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局 ■〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南1-9-3

■発行責任者 会長 中野二郎 生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

## 学び合い、支え合う、自公連

夏祭り、敬老会、文化祭、各地で人が集い、食べて・飲んで・笑い合える日々が戻ってきました。まだまだ、油断はできないと思いますが、コロナ禍を一步乗り越え新たな知恵と力をもらったような気がします。同時に、コロナで気づいた人と人が出会うことの大切さやエッセンシャルワーカーの方々への感謝の気持ち等を忘れずにこれからも過ごしていきたいと思います。



筑紫野市自治公民館連絡協議会

副会長 山家7区自治会長 長岡志津彦

自公連におきましても、「市内公民館研修ツアー」「公民館ハンドブック作成」と新しい試みがスタートし、9月30日には「令和5年度自公連推進大会」を多くの皆様が一堂に会し盛大に開催することができました。「市内公民館研修ツアー」には40名を超える皆さんにご参加いただき、美しが丘北公民館の先進的な取り組みを現場でみせていただき、多くのことを教えていただきました。「公民館ハンドブック」は、市内全ての公民館の情報が集まることにより、これまで知ることができなかつたことを互いに知ることができ、新たな交流も生まれるのではないかと期待しています。「推進大会」におきましては、山崎教授から地域福祉の基本をご講話いただき改めて各地区の地域福祉を見直すことができました。山家地区・御笠地区の発表では、地域の現状を捉え地道な取り組みを粘り強く実践してある姿に元気とやる気をいただきました。

私たち筑紫野市自公連は、学び続ける組織でありたいと思います。デジタル化、AIなどの私たちの想像を超えるスピードで社会は変化し、今「リスキリング」ということが言われています。「学び直し」と言われますが、「学び足し」と考えたいと思います。自公連の皆様はこれまで多くのことを学んであります。そこに、自公連の取り組みを通して学びを足す、そのことで自公連として組織の成長、その先には互いの支え合いが生まれると思います。自公連は、これからも様々な学びを提供していきたいと考えています。

## 令和5年度第1回市自公連館長・主事等研修会開催

6月17日（土）13時30分より生涯学習センター2Fさんあいホールにて開催されました。当日は今年度新たに館長・主事になられた方々をはじめ123名の参加がありました。研修の内容としては、公民館館長・主事の基本的な役割と地域防災に関する講演、及び質疑応答でした。

「よこしろ防災チャレンジ」の取り組みについての講演は、最近特に頻発して起きている地震・大雨・洪水等による自然災害から自分の身を守るために行動指針として、地域住民の



親とその子どもたちである小学生・中学生をPTAの防災教育という形で訓練を行っておられるとのことでした。この横代校舎は、北九州市内唯一の1小学校・1中学校地域ということでした。訓練を始められるにあたって様々な取り組みをしてこられ各地のNPO法人との協力を活かしながら、持続可能な自主防災体制の確立に成果をあげておられます。今回の講演を自治会活動として防災意識の向上に少しでも役立てていきましょう。

# 第68回 福岡県公民館大会

令和5年8月3日(木)、岡垣サンリーアイで集合研修会が開催されました。市自公連は集合研修には参加しませんでしたが、研修資料を入手し、市自公連役員・理事・コミ協・コミセン等に配布し情報を共有化しました。



岡垣サンリーアイ

**大会テーマ**

「ウェルビーイングの実現を支えるコミュニティの拠点としての公民館活動の在り方」  
～これからの人づくり・つながり・地域づくり～

**事例発表**

「ウェルビーイングの実現を支える公民館活動の取り組み」

那霸市若狭公民館 館長 宮城 潤 氏

**講 演**

「ウェルビーイングの実現をめざした人づくり・つながりづくり・地域づくり」

関西学院大学建築学部教授 山崎 亮 氏

**ウェルビーイング**

個人の権利や自己実現が保証され身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念。  
瞬間的ではなく持続的な幸せを意味する。



## 九州地区公民館研究大会 in 長崎

第74回九州地区公民館研究大会が、8月24日（木）～25日（金）長崎市で開催されました。コロナ感染による中断後の4年ぶりの対面形式による開催で、筑紫野市自治公民館連絡協議会からは11名が参加しました。大会テーマを『公民館の不易と流行を考える』とし、初日に分科会、2日目に全体会がありました。

**【第1分科会】**

大分県竹田市久住町丸山自治会丸山生活改善センターからの事例報告。居住世帯14世帯、人口34人のまさに限界集落とも言える状況の中での地域資源を活用した活動の報告。地域資源と言っても山と田んぼしかないところで、その山と田んぼを実際に効果的に活用した地域おこし！具体的には、桜公園の整備、森林クロスカントリーコース造成、田んぼでイルミネーションや菜の花アート、サップの体験会、自治公民館は簡易宿泊所の許可を取り合宿を誘致。まさに「出来ることは何でもやる！」という気概。

**【全体会】**

基調講演は地域活動を草花の生育に喩え、豊饒さを失っている土壌、水、風、種それぞれの役割について説明の後、多くの実践事例の紹介。昔に比べて土が劣化しているため草花を植え育てるためには、まず種が強靭でなくてはならない。では、強い種とは何か？一言で言えば工夫。蒔く種に魅力があるか？それに魅力を感じた人が関われる状態にあるか？例えば防災訓練もただ呼びかけるだけでは人は集まらないが、おもちゃの交換会や工作などと組み合わせれば人は来る。計画は完全ではない方が周りの人は参加しやすい。単発ではなく他の事業につながりを持たせ、計画・準備・実施の過程で周りを巻き込む。その先にさらに様々な妄想を膨らませる。そのように事業を繰り返しながら、豊饒な地域づくりをしよう。「公民館には少なくとも場所はあり人はいる」と。研究大会の内容もさることながら車中で、マイクを回しながら皆が思うところを述べ合い、他地区のいろいろな課題・工夫・対応などを聞くことが出来ました。我々が直面している課題であるだけに参考になることが多々あり、往々帰りを含めてすべての日程が研修そのものでした。

旭東公民館館長 田代 邦夫

公民館研修ツアーリー  
第1弾

# 美しが丘北公民館を訪問しました

～地域とつながる優しいまちづくり～

美しが丘北自治会



私が子どもの頃の思い出として、公民館が中心でおよど、おこもり、夏祭り、ラジオ体操、子供会イベント等々いろいろな場に公民館が利用されてきました。形は違いますが、新しく活性化された公民館像を見せていただきました。地域の人達が、社会教育を通して生涯にわたって、関わりあっていけるように支援する拠点として、素晴らしい組織作りをされています。大変ご苦労されていると思いますが、役割分担が、偏らないように実施された事業もボランティアを募り、自主性を持たせ全体で盛り上げてゆく、羨ましい限りです。

核家族化が進み、隣近所の付き合いも希薄になる中、催しに参加したくなるような、企画を考え実行に移す。素晴らしい美しが丘北自治会・公民館の取り組みを参考に、地域の自治公民館活動に活かしていきたいと思います。

## 2 「オンライン公民館」の取り組み



### 集いの場(公民館)が地域にもたらす効果



居場所があり、災害時や緊急時に情報が得られる  
関係性を作れる！

# (夏休み子ども教室)筑紫公民館で工作教室



37名の子どもたちを異年齢に分けた8つの班で工作に取り組みました。「うまく工作できるかな」「仲良くなれるかな」と緊張していた子どもたちですが、「楽学樂遊たい」による子ども同士がつながるような声かけと、安全・親切なサポートで、大変活気のある笑顔いっぱいの工作教室になりました。



## 2023.8.1(火)

10時～12時 in 筑紫公民館

講 師：「ちくし楽学樂遊たい」11名

参加者：37名の子どもたち

9:00 会場準備

9:45 受付

10:00 開始挨拶

コミセン挨拶

公民館長挨拶

講師紹介

10:10 工作開始

「楽しい自動車」作成

10:45 休憩

10:55 「空飛ぶストロージェット」作成

11:30 ストロージェット飛行大会

11:50 終了挨拶

12:00 会場片付け・清掃



# 帰ってきた夏 2023年 各地区の催し物



## 山口地区



立明寺区

## 二日市地区



松ヶ浦区

天拝坂区

中央区

## 二日市東地区



針摺東区

若葉・中原区

針摺区

祭



祭



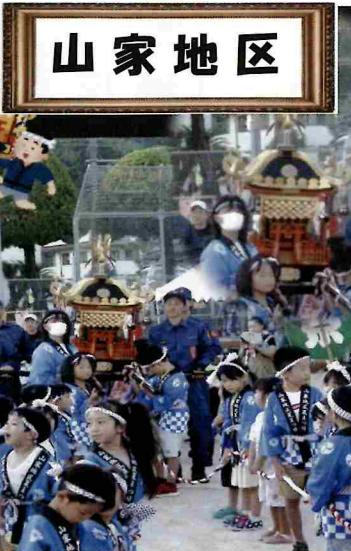
祭



祭



祭

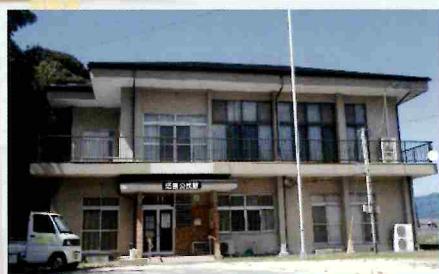


## 筑紫南地区



### 公民館紹介

## 塔原公民館



塔原地区には国道3号線と並んで福岡市と久留米市を結ぶ幹線道路である福岡県道31号福岡筑紫野線が横切っています。山側に100m位進んだ灌漑用水用ため池を埋め立てた場所に建設され47年が経過しました。

なお塔原という地名の由来は筑紫野市のホームページに記載があるので興味がある方はご覧になってください。

現在約900世帯を48組に分けて活動しています。毎年数十世帯ずつ住民が増加しているため、塔原自治公民館での行事を通して地域住民の相互交流を深めています。コロナ禍は安全パトロールや子ども広場などを中心に行っていましたが、コロナが落ち着いたことにより4年ぶりに夏祭り及び敬老会を開催することができ、住民の楽しむ声を聞くことができました。また年末には盛大に餅つきも行う予定です。今後も塔原自治会住民の交流を通して、安全で安心な明るい塔原になるように努めたいと考えています。





# 御笠まちづくり協議会 ホームページ

## ホームページ開設経緯

御笠まちづくり協議会活動及び自然豊かな地域を多くの方に知ってもらう為に「会報みかさ」と合わせて2018年に「ホームページ」を立ち上げました。

掲載内容は、主に部会活動を中心に、イベントなどをお知らせしています。

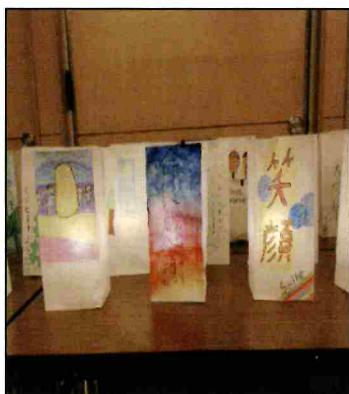
運用要領としては、年4回発行の「会報みかさ」と同時期に更新しています。  
各部会のイベントなど、その都度ホームページに上げています。



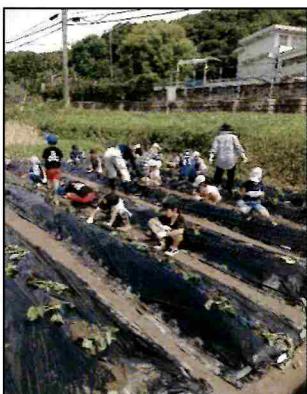
御笠まちづくり協議会ホームページアドレス <https://mikasa-machi-2018.jimdo.com/>

ホームページシステム（ソフトツール）：KDDI ウエブコミュニケーションズ Jimdo（ジンドウ）

## 部会活動：ホームページから抜粋



3.11 自然災害追悼紙灯籠



小学生芋の苗植え



川遊び



## R5年イベントのお知らせ

- 9/24 新米フェアー
- 10/15 宝満山国史跡指定10周年記念講演会
- 12/24 みかさ朝市

その他多くのイベント等を企画しています。